

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ekubo Hoppe		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 4日 ～ 2025年 4月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 4月 4日 ～ 2025年 4月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	- 柔軟に保育内容を変更できる。 - 子どもに合わせて環境を変えたり、接し方を変えられる。 - 事故やヒヤリハットをすぐに改善策を立て実行できる。 - 多職種からの視点で、子どもの発達を支援できる。 - 家族支援や事業者間連携をしっかりと行い、多方面からの情報収集をしっかりとできている。 - 医ケアが多く、ケア方法の見直しができる。ディスカッションができる環境であること。 - 利用児の家族と距離が近く、連絡が取りやすかったり、イベントも開催できている。 - スタッフが仲良く、明るい。これが児童にも伝わりいい刺激となっている。 - リスクを抱えながらも外に出たり、一緒に遊ぶことができている。安心安全に運営できている。 - チームワークがある	- 日々療育内容を決めている。 - カンファレンスを開催し情報共有ができている。 - スタッフ間の声掛けを積極的にしている。 - 仕組化やマニュアル作成をしている。 - 会社の理念の再共有ができている。 - 利用を可能な限り断らない。 - 家族への報連相をこまめにしている。 - 何事もすぐに相談する。 - 営業終了後の掃除や環境整備を徹底している。 - 情報が錯綜しないように常に聞く耳を持つようにしている。 - 笑顔で挨拶。 - 朝一回目の挨拶を元氣よく。 - 家族からのレスポンスを早くしている。 - わからないことを聞く、自分のできる仕事を積極的に探す。 - 情報確認ツールとしっかり運用できている。	- 療育センターに見学に行き、知識を付けていきたい。 - 医ケア児の存在を地域に周知していきたい。 - 災害時対策をよりブラッシュアップする。 - 障害の有無によらず、家族の育ちが重要であることをご家族に伝えていきたい。 - 地域と交流していきたい。 - 療育の体験をご家族様にも体験していただきたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	- 母のニーズと当事業所とのニーズがずれていることがある。 - 個別支援の時間が少ない。 - みんなと同じように、いろんなことを経験させてあげたいが、みんなに合わせようとするとなんかスムーズにいかない。 - 送迎車が少ない - マンパワーの不足を感じます。 - 医療、療育についての知識不足 - 決まりごとが薄れてきてしまうことがある。	- 個別支援計画の期間が6ヶ月と期間が長い - ご家族とお話できたり、実際を見る機会が少ない - 支援者の思いが強い。 - 現場の人数が足りない。	- 家族支援加算を用いてこまめ(月1回を目安に)にご家族様と情報交換をしていきます。 - 一人一人の利用児に対して担当職員を配置し、スタッフ間で話し合い、窓口を一括化します。 - 勉強会を積極的に開催します。 - 決まりごとについてマニュアル作成をして担当者が随時周知を徹底する。
2			

3			
---	--	--	--